

# 1年「ひきざん(2)」【算数】

1年生は、繰り下がりのある引き算の学習をしました。今回は、体育で学習しているボール運動の中から課題を見つけ、みんなで話し合いながら工夫して解決していききました。最初はボール投げと算数は関係ないと思っていた子どもたちが、課題に夢中になり、算数の技を使って課題を解決していききました。この学習を通して、体育の技能面の価値観も豊かになりました。

## 1 的当てゲームの結果から、本時のめあてを立てよう

体育での的当ての結果を見て、本時の学習課題を考えました。



1回と2回目を合わせると12になるね。

みんなしょうすだね！

**【質の高い課題設定】**

体育の学習で実施した的当てゲームの結果を示して考えていくことで、「解決したい」という意欲を持たせる。

**めあて** 3人の中で1ばんしょうすになった人をおかんがえよう。

## 2 みんなが納得のいく答えを考えよう！！

先生：投げるのが上手になったのは、誰でしょう。

点数が一番高いのはCさんだからCさんじゃない？

Bさんは、一番遠くまで飛ばしたけどな・・・

でも、Aさんは前より増えてるよね。

先生：誰が一番上手になったと思いますか。理由も書きましょう。



**【学び合いのコーディネート】**

全員が納得して学習を進めていくことができるよう、根拠となる数値や式に目を向けさせる問い返しをする。



Aさんだと思います。わけは、Aさんは1回目に比べて9点増えたからです。

2と3は3の方が多からCさんだと思います。

先生：考えが変わった人いるかな？

最初は、13が大きいからCさんと思ったけど、Aさんは、3点から12点になっていって、13より増えてるからやっぱりAさん。

## 3 本時のまとめ



**3人の中で一番上手になったのは・・・**

- ・ 9点増えたからAさん。
- ・ 12と13では、13が大きいからCさん。

大きい小さいで比べる

増えた数で比べる

**GREAT!!**



私も、算数の問題を考えてみたいです。自学に問題を書いてきます。